

平成28年度第5回佐久市総合計画審議会第3部会 議事録

日 時：平成28年9月30日（金）

19：00～20：30

場 所：佐久市役所4階 402会議室

【出席者】 金澤部会長、岩間委員、田島委員、谷口委員、花岡委員、小林委員、  
土屋委員、篠原委員 以上8名

【事務局】 佐藤企画課長、若林課長補佐（企画調整係長）、小林、大井、山口

1 開会

2 部会長挨拶

3 議 事

(1) 第二次佐久市総合計画前期基本計画素案について

・事務局より、章ごとに説明（資料1-1、1-2）

第4章 質問・意見

(委員)	<p>(P57～58 介護・高齢者福祉)</p> <p>現在新聞を賑わせている横浜の病院の入院患者2人が中毒死した事件、障がい者施設で入所者19人が殺害され27名人が傷害を受けた事件、あるいはグループホームにおいて9人が犠牲になった台風10号による災害など、これら一連の問題は全て高齢者に関わる問題です。これらの事件では、事前に市に事件が起こりそうだという連絡が入っていたにも関わらず起こってしまっており、大きな問題ではないかと思えます。総合計画には直接関係ありませんが、これからの問題として、市としてこういう問題が起きた場合にはどう対応していくのか聞かせてください。</p>
(事務局)	<p>横浜の病院の関係は、報道でしか承知していませんが、横浜は政令指定都市であるため、病院から市へ連絡が入っているのかと思いますが、長野県の場合は、まず県に連絡が入るものだと考えています。当然県から市に連絡が入れば、連携を取りながら市としての行動を取っていくこととなります。ただ、これについては犯罪性が強いところがあるので、個別の課題であると考えています。もう一点、介護という分野としての課題もあるのではないかという議論が出始めているというところは捉えているところであります。障がい者施</p>

	<p>設での事件の関係は、知的障がい者施設であり、市も知的障がい者施設を持っていますので、当然そのような事件があったということで、直接確認は取っていませんが、特に警備面で対応を取るよう進めているところだと考えています。そのような中で、資料 1-1 の 55 ページ、56 ページの地域福祉の施策において、庁内調整をする中で、今回の事件があったからという訳ではありませんが、相当書き加えているところがあります。地域福祉については、概念的なことから、わかりづらい部分もありますが、特に、現状と課題の一つ目の文章の中に、「全ての人が家庭や住み慣れた地域で互いを思いやり」や、二つ目の文章の中に、「包括的な支援を行う地域福祉ネットワークを充実していく必要がある。」というようなことを付け加え、より強く記載させていただいたところです。また、障がい者施設の関係は、地域の理解ということも大事だと考えています。</p>
(委員)	<p>佐久市でも同じような事件が起きないとも限りませんので、しっかりとした対応をお願いしたいと思います。</p>
(委員)	<p>58 ページの「認知症にやさしい地域づくりネットワーク運営委員会」というのは、市の保健福祉審議会の中にある組織だと思いますが、年 2 回程度会議を開いているだけの組織において、具体的に「地域の特徴に合わせた見守り体制を構築するとともに、・・・」と記載してそれが本当にできるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>担当課とも調整をして修正をさせていただいたところですが、そのような実態を踏まえたご意見をいただきましたので、再度確認させていただきます。</p>
(委員)	<p>確かに、そのような地域全体のことを、医療機関、介護関係、交通関係機関、消防、警察などが集まって会議はしていますが、その組織で本当にできるのか疑問を感じます。</p>
(委員)	<p>(P53～54 医療保険・国民年金)</p> <p>以前の意見の中で、「健康診断の結果」という言葉を使った方が良いということで今回修正されていますが、健康診断自体の受診を促進させるような文章が全くないと思いますので、健康診断を 100% 受診していれば良いですが、実際受診率は何%位で、未受診者の受診</p>

	を促進するという内容を入れなくても良いのでしょうか。
(事務局)	国民健康保険では、特定健康診査が健康診断に当たるものであり、「特定健康診査の受診率向上を図り、保険給付費の縮減に努めます。」と記載しています。また、国民健康保険以外では、49 ページ、50 ページの保健活動の施策でも、「健康診断の受診率向上を図ります。」と記載しています。
(委員)	健康診断の受診率については、佐久市も含め長野県は特に低くなっています。その中でも特に若者の受診率が低い状況です。
(事務局)	そのような状況のため、今年度から、40 歳から 5 歳刻みの年齢に当たる人は、特定健康診査の基本料金を無料にし、受診率の向上を図る取組を始めています。
(委員)	数年前に、健康診断の受診率が低いということが分かり、いろいろ調べたとき、佐久市は、検査項目が充実していて良い検査をしていますが、その分受診料が高いという状況であったことから、受診料を下げるということは必要だと思います。
(事務局)	若い世代に対しては、35 歳から 39 歳の健康診断は、本来の 4,900 円から 2,800 円に割引をしています。

## 第 5 章 質問・意見

	(P69～70 街並み緑化・公園・景観形成)
(委員)	緑化の関係ですが、長野市では、街路樹として大きな木を植えたところ、それがさらにどんどん大きくなってムクドリが何万羽も集まり、フン害などの様々な被害が起きているということです。そのようなことから、あまりに大きくなる木を街路樹に植えるということは考えものだと思います。
(事務局)	街路樹については、見通しの問題や今ご意見をいただいたような問題もあろうかと思しますので、街路樹としてふさわしい木を選ぶとともに、佐久市らしい木を植えていければ良いと考えています。ご意見は、担当課に伝えさせていただきます。

(2) 第一次佐久市総合計画後期基本計画進行管理について

(資料 2-1、2-2 により事務局から説明)

(委員)	資料 2-2 の 1 ページ、施策コード 412 の今後の方針の欄の語尾が「ですます」調になっていますので、他の項目に合わせて「である」調にした方が良いと思います。また、施策コード 411 の今後の方針の欄の 2 行目からの、「また、作成された地区においてはその見直しを進めていくよう推進し、・・・」という箇所について、表現がおかしいと思いますので検討してください。さらに、3 ページ、施策コード 512 の取り組み状況の欄の 4～5 行目に、「参加団体の都合により 1 公園減となってしまった。(41%)」と記載されていますが、「(41%)」の位置は「。」の前が適切ではないでしょうか。
(事務局)	ご指摘のとおりでありますので、再度よく確認し精査させていただきます。
(委員)	資料 2-2 の審議会意見の欄の「現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、・・・」という言い方について、「現在の取組を引き続き挑戦してください」というような意味だと思いますが、少しわかりづらいのではないのでしょうか。
(事務局)	第一次総合計画後期基本計画では、後期の期間だけでなく、各施策を展開する中で、今後の目指す方向を「チャレンジ!!」として設定していますことから、その言葉をそのまま使い、「「チャレンジ!!」達成」という言い方をしているところです。

(3) その他

- ・ 第二次佐久市総合計画前期基本計画における目標設定等について

(資料 3 により事務局から説明)

(委員)	市民満足度調査というのは、具体的にはどのように調査しているのですか。
(事務局)	対象とすると、幅広く市民の皆さんを対象としていますが、その中から 1,000 人の皆さんを、年齢のバランス、地域のバランスに偏りがないような形で抽出して調査をしています。満足度調査につい

	<p>ては、第一次総合計画の「福祉のまちづくり」、「高齢者福祉・介護保険」などの施策ごとに満足度と重要度を5段階で評定してもらうアンケートとして行っているものです。その結果を基に満足度を上げていくということを施策目標として第二次の計画では実施していきたいと考えています。</p>
(委員)	<p>2年ごとに満足度調査を実施するという事は、ベースは平成28年度をベースとするということだと思いますが、2年ごとに見直していくということですか。</p>
(事務局)	<p>満足度は、継続的に見ていくことが重要でありますことから、捉えるべき施策の枠組みは、2年ごとに見直すということではなく、同じ形で継続していきたいと考えています。しかしながら、新しい第二次の計画では、例えば「地球温暖化対策」のように新しい施策として抜き出しているものもあります。そのようなところは、満足度調査の方も合わせて変えていくように考えていかなければなりません。基本的には同じ形で継続して満足度・重要度を取り続けていきたいと考えています。</p>
(委員)	<p>以前に自分も満足度調査の回答をしたことがありますが、年齢的にあまり関わりがない分野では、満足なのかどうなのかが分からない施策があります。そういう面で、満足度の指数というのが正確な値として捉えられているのか疑問を感じます。</p>
(事務局)	<p>そもそもの統計調査の手法に関わってくる部分もありますが、回答の選択肢として、「どちらでもない」と「不明」という選択肢も入れています。「どちらでもない」は満足でも不満でもなく中間という位置付けになるかと思います。調査結果では不明というのもあり、選んでいただけない、選ばれないものはこの部類となり、指数には反映されませんので、ご理解をいただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>資料3の1ページの1(1)エに「目標によっては、単に行政側の活動量を伸ばすようなものがあり、施策や事業の成果を示していない。」とありますが、これは例示するとどのようなものですか。</p>
(事務局)	<p>わかりやすい例で言いますと、「道路を何メートル整備します。」</p>

	<p>というような目標は、単純に行政がコストさえ投入すれば達成できてしまう目標であり、ここではこういった目標のことをアウトプットと言っています。しかし、本当の成果というものは、そういうものではなく、道路ができたことによって「渋滞が緩和しました。」「ここからここまでの移動時間が何分早くなりました。」ということです。</p>
(委員)	<p>この目標設定の関係は、第3部会だけでなく、全体に関する話だと思います。</p>
(事務局)	<p>そのとおりですので、各部会で同じように提案させていただいています。最終的には全体会議の方で、まずは目標設定の形についてご審議いただき、目標数値を入れたところで、目標値がそれで良いのかというところをご審議いただきたいと思います。その前段として、このような考え方で良いかということでご意見をいただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>重点プロジェクトというのは、実際はどのようになるのでしょうか。施策横断的などという話ですが、総合計画の各章とオーバーラップして、相当重なり合ってくると思いますが、複数の章にまたがってくるものもあり、どこへどのように目標設定をするのか難しいと思いますので、工夫していただく必要があろうかと思います。</p>
(事務局)	<p>施策そのものとしては捉えづらい部分があります。プロジェクトを示す際に、「このプロジェクトは、これとこれとこの施策に関連しています。」というようなところも示しながらイメージを見ていただければと思います。</p>
(委員)	<p>そういうことも大事だと思いますが、例えばどこの部会で評価するようになるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>進行管理そのものについては、施策ごとには満足度調査を行いますので、それは各部会でご審議いただくように考えています。プロジェクトについては、資料3にありますとおり、5つ程度と考えており、それについて全体会議の中でご審議いただくなど、その辺りは工夫をさせていただきたいと思います。</p>

(委員)	<p>プロジェクトのイメージですが、資料3にありますプロジェクト1からプロジェクト4までは総合戦略の4つの基本目標が入っているということだと思いますが、プロジェクト5については、「健康長寿の推進」とあり、目標は「健康寿命の延伸」となっていますが、数値目標を設定して、5年間でそれを伸ばそうというのは難しいのではないのでしょうか。</p>
(委員)	<p>何をもって健康だと判断するのか、その線引きはどうなっているのでしょうか。薬を飲んでいれば健康ではないのでしょうか。手術をした人はどうなのでしょう。</p>
(事務局)	<p>厚生労働省など、いろいろな機関により、計り方が違うようですが、調整中として記載させていただいています「健康寿命の延伸」をもしこのまま使う場合は、例えば、厚生労働省で使っている「要介護度2にならないところ」を基準にするなど、線引きを明確にするようにしたいと考えています。</p>
(委員)	<p>目標値を設定するのは良いですが、設定するからには、目標の達成に向け、しっかり管理しなければ意味がないと思います。総合戦略の方は、その取組に対して国から何か補助金がもらえるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>国から地方創生関係の補助金の交付を受けるには、まず、その事業が総合戦略に搭載されているということが要件となっています。さらに、国からその事業の先駆性等が認められた場合に、補助が受けられるというような形になっています。現在、佐久市では、臼田のCCRC（生涯活躍のまち）と健康長寿推進の事業が国から認められ、補助を受けています。</p>
(委員)	<p>第一次総合計画の後期基本計画には、ものすごい数の目標が設定されていますが、資料3のイメージでは、プロジェクト1から5まで示されています。第二次総合計画の前期基本計画では、目標の数はどのくらいを想定しているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>重点プロジェクトとして示しています5つについては、施策横断</p>

	<p>的なプロジェクトでありますことから、イメージとして示しています5つ程度にしたいと考えています。しかしながら、資料3の3(3)にありますように、プロジェクトとは別に、行政として監視していく必要がある数値については、数値目標としていくつか掲げたいと考えています。現在の計画では約80個の目標がありますが、現在ほど多くなりたいと考えています。行政の計画上、数値目標がない計画では現在は通用しない状況となっています。</p>
(委員)	<p>前山に建設が予定されておりますパラボラアンテナについて、事業として従業員が雇われるということはあるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>JAXAで建設するものでありますが、JAXAからどちらかの業者に発注して建設することになると思います。完成した後は、現在臼田のパラボラアンテナで働いている人たちが、移るようになると思います。</p>
(委員)	<p>私の聞いている限りでは、現在の臼田のパラボラアンテナについては、リモートコントロールを考えていると聞いています。</p>
(委員)	<p>ほとんど人はいないということですね。</p>
(事務局)	<p>今働いている人たちがそのまま移るだけで、新たに雇用が増えるということはないと思います。</p>

・次回全体会議の日程について連絡

4 閉 会